

牧原 秀樹氏に聞く

牧原秀樹氏は一九九五年に東京大学法学部を卒業後、同年に司法研修所に入所し、あさひ法律事務所(現西村あさひ法律事務所)をはじめ、国内外のロー・フームに在籍するなど、通商の専門家として活躍する。その経験を活かし、経済産業省に入省し、通商政策局通商機構部の参事官補佐として、わが国の通商交渉、紛争を担当する。その後、二〇〇五年に衆議院選挙に立候補し、初当選を果たし、二〇一七年、二〇一八年まで厚生労働副大臣を務め、現在は経済産業副大臣としての職務に就いている。

今回は厚生労働大臣時代に取り組まれた「働き方改革」が成立するまでの経緯や、医師・歯科医師の働き方改革、医療分野への新たな視点などを伺った。聞き手は、当協会の呉橋美紀理事。

一人ひとりが活躍できる社会を

経産省、厚労省間の壁を乗り越え、横断的な協力を目指す



「呉橋美紀理事 厚生労働副大臣時代に取り組まれた「働き方改革法」についてお聞かせください。」

◆牧原秀樹氏 戦後の労働基準法は、細かには改正されてきましたが、これだけの改正はされてきませんでした。法律で一人ひとりの働く時間を制限することは、どうなのかという葛藤を抱えての法改正でした。実際、審議の中でも法律で規制することへの議論はたくさん出ました。他方で過労死をされたご家族のお話を伺うと、働かざるを得ない状況に抵抗がきかず、尊い命を犠牲にされた方が

います。さらに、①臨床的に働く場合、②職員として働く場合があり、この二つを勤務時間に入れることは何ら「問題はない」ですが、研究者として自身の研究や学術論文の発表に従事しているということがどこまで義務に当たるのかという点には議論がありました。

「特徴や「才能」「個性」を最大限に生かせる、そういう働き方ができる国にしたいと思っています。」

◆牧原氏 医師の働き方、これは働き方改革でも当初から例外にされてきました。それは、医師には、病気をケアするという義務があり、医師の「想い」もありません。そのため、病気が方々で運ばれて、申し訳ないけど今日は残業できないので帰らせてもらいます」という訳にはいきません。いろいろな意味で通常のホワイトカラー的に働いている方とは、自ずと差があるのではないかと、こういう議論があり、別建てで議論されて結論が出ました。

もうひとつ、医師の働き方で難しい点は、病院での勤務です。医師の方々は学術的な研究者の側面があるのだと受けとめ、感謝する心をもつことが重要かなと思っています。歯科医療を含めて急速に発達しているのは「技術」です。病理診断の技術もあるでしょうし、治療の技術も当然あると思います。どうしても承認などのプロセスもあるもので、医療機器や薬というものは、発明されてから認可を受け、流通するまで、かなりの時間がかかります。私はこれを縮めて患者、あるいは医師に提供し、常に最新技術・最適な医療を受けられるようにすることに気を配っています。

◆牧原氏 わが国の国民皆保険制度は本当に素晴らしいです。ですから私たちがもつべきことを言い続けたいという思いは、私も街頭で訴えたいと思っています。ですが、もう少し教育の現場などでもそういうような国民皆保険のありがたや、医療現場の皆様の献身的なありがたを教えるようなことをすることが必要かもしれないですね。

◆厚労副大臣と経産副大臣を拝命された初めての国会議員ですが、新たな視点、少子高齢化社会での医療に関して展望を。

◆牧原氏 いかに医療と産学等の連携をしていくかが、自分の大きなテーマだと思っています。厚労省でも医療の見え方に違いはありますか。

◆牧原氏 一言でいうと、見えてなかったということだと思います。つまり、厚労省側から見るとそれを産業としてとらえる視点はなかった。経産省側から見てみると、厚生労働分野も一つの産業であるという視点が弱かったと思います。今は少しずつライフサイエンスとかバイオインダストリーみたいな分野が生まれてきています。

◆「座右の銘」をお聞かせください。

◆牧原氏 座右の銘は、「意志あるところに道がある」ということ。もう一つは「たゆまぬ努力」です。「意志あるところに道がある」とは、Z会という予備校のテレフォンカードに書いてあった言葉です。私たちの世代はまさに偏差値世代なので、私も有名進学校に入り、そして東京大学を目指した感じが、かなり順調に頑張ってきた感じが、大学受験に失敗しました。しかも一校しか受験せず、落ちてしまいました。

◆「座右の銘」をもう一つお聞かせください。

◆牧原氏 座右の銘は、「意志あるところに道がある」ということ。もう一つは「たゆまぬ努力」です。「意志あるところに道がある」とは、Z会という予備校のテレフォンカードに書いてあった言葉です。私たちの世代はまさに偏差値世代なので、私も有名進学校に入り、そして東京大学を目指した感じが、かなり順調に頑張ってきた感じが、大学受験に失敗しました。しかも一校しか受験せず、落ちてしまいました。

【プロフィール】牧原秀樹(まきはらひでき) 経済産業副大臣、元厚生労働副大臣/弁護士・ニューヨーク州弁護士。東京大学法学部に入学し、在学中に司法試験合格。弁護士登録後、あさひ法律事務所(現:西村あさひ法律事務所)に入所、2001年にジョージタウン大学に入学し、その後、ニューヨーク州弁護士登録。

診断へ人工知能がアシストする未来も……

「部品に使えるのだというのがあるわけですね。私が申し上げたいのは、そういう既存の技術力を生かして「創造」できることに投資をしていきたいと思っています。ぜひ、医療現場の方もどんどん「こういうのがあれば便利だ」ということを中小企業の物作りの方に言っていたらいいと思います。」

◆本日、大変お忙しいところ、貴重なお時間を割いていただき、本当にありがとうございます。(一)



自身の経験や社会への想いを笑顔で交えてお話しくださいました